アクサの資産形成の変額保険 ユニット・リンク

アクサの保障重視の変額保険 ユニット・リンク定期

アクサの資産形成の変額保険 ユニット・リンク介護プラス

ユニット・リンク保険（有期型）　ユニット・リンク保険（定期型）　ユニット・リンク介護保険（終身移行型）

特別勘定の月次運用レポート

2022 年 2 月度

＜目次＞

1. 特別勘定の種類　1 ページ
2. 運用環境の主な状況　2 ページ
3. 特別勘定の運用実績・状況　3-4 ページ
4. ［参考情報］投資信託の運用実績・状況　5-14 ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項　15-16 ページ

［引受保険会社］

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020　東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-936-133

平日 9:00～18:00 / 土 9:00～17:00

(日・祝日、12月30日～1月4日を除く)

https://www.axa.co.jp/

■ 当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

⚠ 本商品は、アクサ生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありません。そのため、預金とは異なり元本保証はありません。本商品のリスクや費用については本資料巻末に記載していますので、必ずご確認ください。また、本商品のご検討にあたっては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」をご覧ください。

特別勘定の種類

特別勘定名	運用方針
安定成長バランス型	主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券30%、外国債券30%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。
積極運用バランス型	主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式25%、外国株式35%、日本債券20%、外国債券20%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。

特別勘定名	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社	投資信託の運用方針
日本株式型	JDFインデックス・ファンド国内株式F（適格機関投資家専用）	ブラックロック・ジャパン株式会社	主としてわが国の証券取引所に上場されている株式に投資を行い、わが国の株式市場全体の長期的成長をとらえることを目標に、TOPIX（東証株価指数　配当込）に連動する投資成果を目指して運用を行います。
日本株式プラス型	セレクション・ジャパン・エクイティ	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド	積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。
外国株式プラス型	アクサ IM・グローバル（日本除く）株式ファンド〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
世界株式プラス型	アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド	アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド	純資産価額の3分の2以上を、世界の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。（委託会社は本ファンドの運用についてキャピタル・インターナショナル・マネジメント・カンパニーSARLを副投資マネージャーに任命しました。）
新興国株式型	エマージング株式インデックス・ファンド＜適格機関投資家限定＞	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。
世界債券プラス型	適格機関投資家私募アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド－3	アライアンス・バーンスタイン株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債（BBB格以上）を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
オーストラリア債券型	アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）	アライアンス・バーンスタイン株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリア・ドル建の国債、州政府債、国際機関債および事業債などの公社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
金融市場型	アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

＊1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。
※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。
※「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が低いことを想定した特別勘定です。ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

運用環境の主な状況

（2022年2月末現在）

■ 日本株式市場

TOPIX（東証株価指数）は下落し、前月末比－0.47%の1,886.93ポイントで終えました。上旬は決算発表が本格化する中、好決算を発表した企業を中心に上昇しました。中旬以降は、米国の金融引き締め観測やロシアのウクライナ侵攻による米国株式市場の下落などを受けて低下に転じました。月末にかけてやや反発しましたが、月を通じて下落する展開となりました。

日本の小型株式市場は概ね下落しました。

■ 外国株式市場

米国株式市場は下落し、NYダウ工業株30種は前月末比－3.53%の33,892.60ドルで終えました。上旬は米国企業の好決算などを反映してやや上昇して始まった後、中旬以降、大幅な金融引き締め観測やロシアによるウクライナ侵攻に対する懸念などから、市場は下落に転じました。月末にかけてはやや反発しましたが、月を通じて下落しました。

欧州株式市場は、前月末比、独DAX指数－6.53%、仏CAC40指数－4.86%となりました。上旬はやや上昇して始まった後、もみ合いの展開となりました。中旬以降は、米国株の低迷やロシアのウクライナ侵攻に対する懸念などを受けて下落しました。月末にかけてやや反発したものの、月を通じて下落しました。ロシアのウクライナ侵攻が欧州経済に与える影響が相対的に大きいことなどから、欧州株式市場は、日米株式市場よりも大きく下落しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場も下落しました。

■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には0.192%となりました（前月末0.178%）。上旬は、米長期金利の上昇などを背景に金利は上昇基調で推移しました。中旬は、日銀が指値オペを通知し、金利上昇の抑制に動いたことなどから金利は横這い推移となりました。下旬は、ロシアのウクライナ侵攻に対する懸念などから金利は低下（価格は上昇）しました。月を通じて、金利はやや上昇しました。

■ 外国債券市場

米国債券市場では10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、月末には1.825%となりました（前月末1.777%）。上旬は、米雇用統計で高い賃金上昇や米消費者物価指数の上昇が確認されたことなどから、金融引締め観測などを背景に金利は上昇しました。下旬は、ロシアのウクライナ侵攻に対する懸念などから金利は低下（価格は上昇）に転じました。月を通じて、金利はやや上昇しました。
米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場では独10年国債の金利は上昇し、月末には0.135%となりました（前月末0.011%）。上旬は、ユーロ圏でのインフレ率の上昇や米長期金利の上昇などを受けて金利は上昇しました。下旬より、ロシアのウクライナ侵攻に対する懸念などから金利は低下に転じました。月を通じて金利は上昇しました。

■ 外国為替市場

米ドル/円相場は前月末比＋0.11円の115.55円となりました。上旬は、米金利の上昇、米雇用統計、米消費者物価指数の上昇などを背景に円安米ドル高で始まりましたが、その後は、ロシアのウクライナ侵攻に対する懸念などから円高米ドル安となりました。その後円安米ドル高となり、月を通じては前月比小動きの展開となりました。

ユーロ/円相場は円安ユーロ高となり、月末は前月末比＋0.68円の129.34円となりました。上旬は、ユーロ圏CPI（消費者物価指数）の上昇やECB（欧州中央銀行）の利上げ観測などにより、円安ユーロ高基調で推移しました。中旬以降は、ロシアのウクライナ侵攻に対する懸念などから円高ユーロ安基調で推移しました。月を通じては、円安ユーロ高となりました。

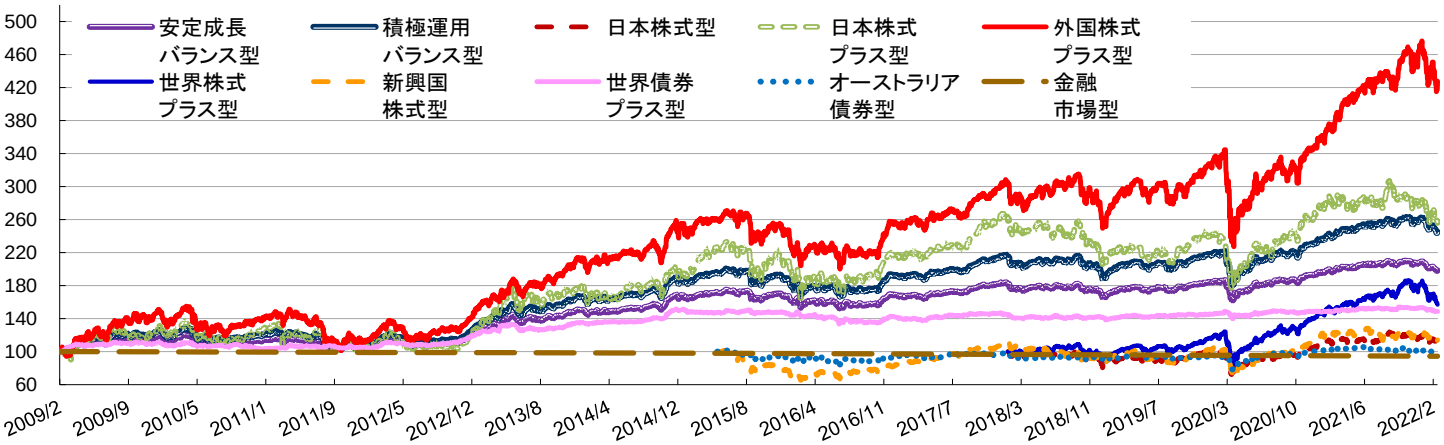
※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定の運用実績・状況

(2022年2月末現在)

■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定名	特別勘定設定日	ユニット・プライス 2022年2月末	騰落率(%) ※3年/5年/設定来の下段は年換算					
			1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
安定成長バランス型	2009/2/1	198.29	△ 1.08	△ 4.52	1.16	12.85	18.67	98.30
						4.11	3.48	5.37
積極運用バランス型	2009/2/1	245.08	△ 1.02	△ 4.90	3.23	19.59	28.04	145.09
						6.14	5.07	7.09
日本株式型	2018/2/1	111.17	△ 0.47	△ 3.18	2.14	22.13	―	11.18
						6.89	―	2.63
日本株式プラス型	2009/2/1	255.83	△ 0.29	△ 10.64	△ 6.73	13.41	18.40	155.83
						4.28	3.44	7.44
外国株式プラス型	2009/2/1	427.69	△ 1.21	△ 2.68	16.16	45.63	66.86	327.69
						13.35	10.78	11.75
世界株式プラス型	2018/2/1	156.89	△ 3.05	△ 9.07	5.40	53.39	―	56.90
						15.33	―	11.67
新興国株式型	2015/5/1	114.30	△ 1.67	△ 4.14	△ 6.72	17.27	32.02	14.30
						5.45	5.71	1.97
世界債券プラス型	2009/2/1	148.55	△ 1.59	△ 2.42	0.68	4.52	6.80	48.56
						1.48	1.32	3.07
オーストラリア債券型	2015/5/1	99.25	1.19	△ 2.55	△ 2.74	5.93	4.92	△ 0.74
						1.94	0.97	△ 0.11
金融市場型	2009/2/1	94.35	△ 0.06	△ 0.33	△ 0.58	△ 1.74	△ 2.81	△ 5.64
						△ 0.58	△ 0.57	△ 0.44

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定設定日の前日の値を「100」として指数化したものです。
※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。
※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。

■ 特別勘定資産の内訳　千円単位

	安定成長バランス型		積極運用バランス型		日本株式型		日本株式プラス型		外国株式プラス型	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	157,464	0.6	262,669	0.4	30,408	1.2	49,453	0.5	323,625	0.3
その他有価証券	25,765,884	99.4	73,726,722	99.6	2,492,186	98.8	10,748,108	99.5	103,247,836	99.7
合計	25,923,348	100.0	73,989,391	100.0	2,522,594	100.0	10,797,562	100.0	103,571,462	100.0

	世界株式プラス型		新興国株式型		世界債券プラス型		オーストラリア債券型		金融市場型	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
現預金・その他	620,954	0.5	47,419	0.4	81,236	0.9	28,646	1.0	96,070	9.3
その他有価証券	134,349,037	99.5	10,915,708	99.6	8,531,365	99.1	2,788,738	99.0	942,149	90.7
合計	134,969,991	100.0	10,963,127	100.0	8,612,601	100.0	2,817,384	100.0	1,038,220	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託並びに外国投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

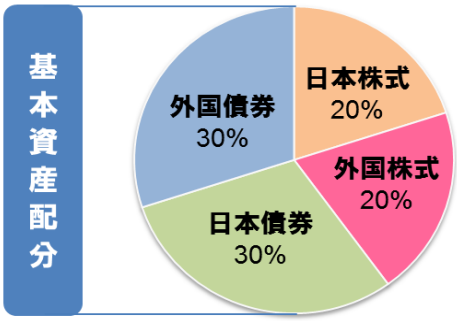
※上記の内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

安定成長バランス型

(2022年2月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券30%、外国債券30%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。



■ 特別勘定資産の内訳

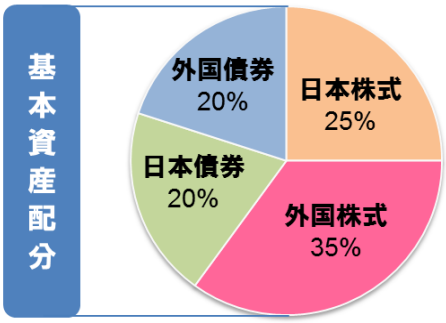
銘柄		%	参照頁
現預金・その他		0.6	―
日本株式	セレクション・ジャパン・エクイティ	19.5	P.6
外国株式	アクサ IM・グローバル（日本除く）株式ファンド〈適格機関投資家私募〉	19.6	P.7
日本債券	日本債券インデックス・ファンドVA2＜適格機関投資家限定＞	30.5	P.13
外国債券	アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド	29.8	P.14

積極運用バランス型

(2022年2月末現在)

■ 特別勘定の運用方針

主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
基本資産配分は、日本株式25%、外国株式35%、日本債券20%、外国債券20%とし、一定の規律に従いリバランス*1を行います。



■ 特別勘定資産の内訳

銘柄		%	参照頁
現預金・その他		0.4	―
日本株式	セレクション・ジャパン・エクイティ	24.3	P.6
外国株式	アクサ IM・グローバル（日本除く）株式ファンド〈適格機関投資家私募〉	34.9	P.7
日本債券	日本債券インデックス・ファンドVA2＜適格機関投資家限定＞	20.5	P.13
外国債券	アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド	20.0	P.14

日本株式型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

JDFインデックス・ファンド国内株式F（適格機関投資家専用）

ブラックロック・ジャパン株式会社

■ 投資信託の特徴

主としてわが国の証券取引所に上場されている株式に投資を行い、わが国の株式市場全体の長期的成長をとらえることを目標に、ベンチマークに連動する投資成果を目指して運用を行います。
マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

■ 純資産総額

66 億円

■ 設定日

2006年4月25日

■ ベンチマーク

TOPIX（東証株価指数　配当込）

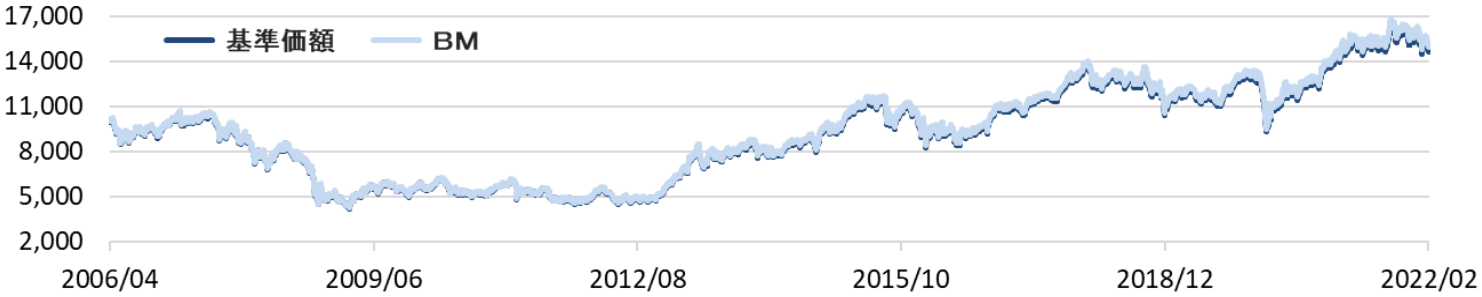
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△0.44	△1.96	△2.86	3.25	25.57	48.48
BM	△0.43	△1.97	△2.79	3.36	25.89	51.44
差異	△0.01	0.01	△0.07	△0.11	△0.32	△2.96

※基準価額の推移および騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※TOPIXに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 2,173

	銘柄	業種	%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.11
2	ソニーグループ	電気機器	2.80
3	キーエンス	電気機器	1.86
4	三菱ＵＦＪフィナンシャルＧ	銀行業	1.67
5	リクルートホールディングス	サービス業	1.35
6	東京エレクトロン	電気機器	1.35
7	日本電信電話	情報・通信業	1.28
8	任天堂	その他製品	1.22
9	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.15
10	信越化学	化学	1.13

■ 株式組入上位5業種

	業種	%
1	電気機器	17.27
2	輸送用機器	8.32
3	情報・通信業	7.89
4	化学	6.48
5	サービス業	5.62

■ 市場別構成比率 (%)

東京証券取引所第一部	97.85
現金等	2.15

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5業種」「市場別構成比率」はマザーファンドの純資産総額を100%として計算したものです。
※現金等には株式先物を含みます。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

日本株式プラス型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

セレクション・ジャパン・エクイティ
アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Selection Japan Equity Class I
Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。純資産価額の3分の2以上を、日本を本拠地とする、または日本の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、その目的を達成することを目指します。
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

80,998 百万円

■ 設定日

2021年4月21日

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 1.17	△ 4.61	△ 5.49	-	-	△ 1.99

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）

■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数:　118

	銘柄	%
1	TOYOTA MOTOR CORP	3.64
2	ORIX CORP	3.41
3	SHIN ETSU CHEMICAL CO LTD	3.08
4	SUMITOMO MITSUI FINANCIAL GR	2.93
5	SONY GROUP CORP	2.81
6	TOKIO MARINE HOLDINGS INC	2.68
7	KDDI CORP	2.51
8	FANUC CORP	2.25
9	RECRUIT HOLDINGS CO LTD	1.84
10	SOFTBANK CORP	1.61

■ 株式組入上位5業種（%）

1	資本財・サービス	22.73
2	一般消費財・サービス	19.79
3	金融	13.26
4	情報技術	12.11
5	素材	8.54

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

外国株式プラス型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ 純資産総額

1,341 億円

■ 設定日

2015年3月23日

■ ベンチマーク

MSCIコクサイ指数(配当込み／日本円換算)

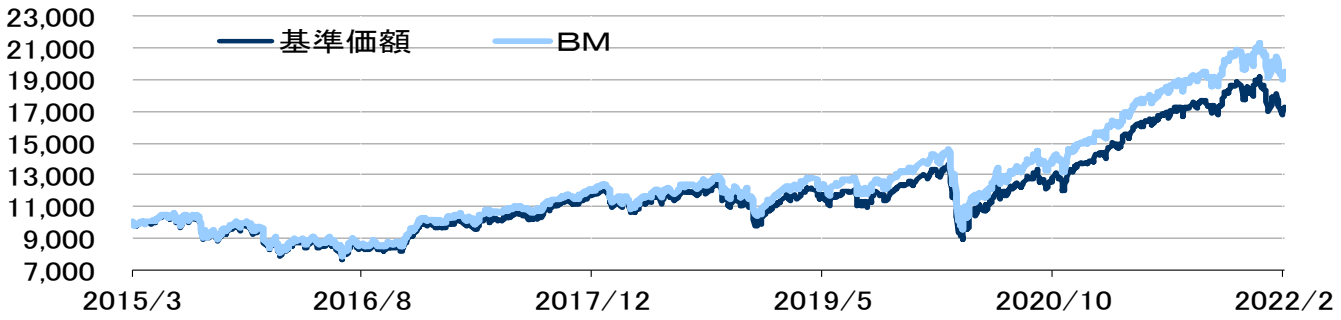
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△1.15	△5.53	△2.49	17.24	49.29	72.42
BM	△0.62	△3.78	0.35	21.08	60.63	94.95
差異	△0.53	△1.74	△2.84	△3.84	△11.34	△22.53

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIコクサイ指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数：202

	銘柄	国名	業種	%
1	APPLE INC.	アメリカ	情報技術	4.60
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.47
3	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.42
4	AMAZON.COM INC.	アメリカ	一般消費財・サービス	2.12
5	DIAGEO PLC	イギリス	生活必需品	1.55
6	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	ヘルスケア	1.51
7	GILEAD SCIENCES INC.	アメリカ	ヘルスケア	1.46
8	AMERICAN EXPRESS COMPANY	アメリカ	金融	1.37
9	UBS GROUP AG	スイス	金融	1.35
10	TESLA,INC.	アメリカ	一般消費財・サービス	1.25

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	67.10
2	イギリス	6.05
3	カナダ	4.22
4	フランス	3.30
5	スイス	3.00

■ 株式組入上位5業種(%)

1	情報技術	25.45
2	金融	18.85
3	ヘルスケア	16.07
4	一般消費財・サービス	10.09
5	資本財・サービス	9.58

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

世界株式プラス型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド

AXA Capital Global Equity Class I

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド　Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

純資産価額の3分の2以上を、世界の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。（委託会社は本ファンドの運用についてキャピタル・インターナショナル・マネジメント・カンパニーSARLを副投資マネージャーに任命しました。）
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

137,345 百万円

■ 設定日

2021年10月27日

■ ベンチマーク

なし

■ 基準価額騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△4.51	△9.11	△6.80	8.71	62.63	111.50

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※投資信託の構造を見直し、運用報酬の引下げを行うことでご契約者の利便性を高めるための投資信託の変更を行いました。
そのため当ページで示している基準価額騰落率および基準価額の推移につきまして、2021年10月26日までは、変更前の「キャピタル世界株式ファンドVA（適格機関投資家用）」の基準価額に、2021年10月27日以降は、「アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド」のファンド価格に基づいて計測された数値を表示しています。

■ 基準価額の推移

※キャピタル世界株式ファンドVA（適格機関投資家用）の設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)

■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数:　295

	銘柄	国名	業種	%
1	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	7.07
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.15
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	3.03
4	META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.07
5	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	2.02
6	ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	1.52
7	ALPHABET INC CL C	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.46
8	ALPHABET INC CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.45
9	BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	1.16
10	JPMORGAN CHASE + CO	アメリカ	金融	1.08

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	52.76
2	フランス	6.60
3	オランダ	4.26
4	イギリス	3.72
5	スイス	3.57

■ 株式組入上位5業種(%)

1	情報技術	22.99
2	一般消費財・サービス	18.75
3	ヘルスケア	11.48
4	金融	10.13
5	資本財・サービス	9.07

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

新興国株式型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

エマージング株式インデックス・ファンド　＜適格機関投資家限定＞

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的にベンチマークの動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。

■ 純資産総額

109 億円

■ 設定日

2009年11月30日

■ ベンチマーク

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）

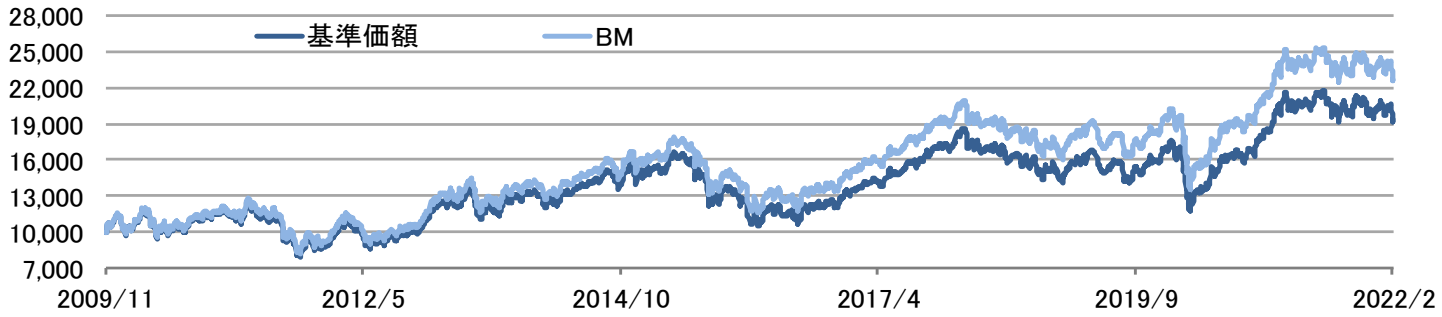
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△1.61	△2.47	△3.87	△6.21	20.52	94.18
BM	△1.82	△2.44	△3.64	△5.66	23.88	127.97
差異	0.21	△0.03	△0.23	△0.55	△3.36	△33.79

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 1131

	銘柄	国名	業種	%
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	情報技術	6.87
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	コミュニケーション・サービス	3.88
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	3.54
4	ALIBABA GROUP HOLDINGS LTD	中国	一般消費財・サービス	2.55
5	MEITUAN-CLASS B	中国	一般消費財・サービス	1.11
6	RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド	エネルギー	1.09
7	INFOSYS LIMITED	インド	情報技術	0.95
8	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	0.90
9	JD.COM INC - CL A	中国	一般消費財・サービス	0.89
10	MEDIATEK INC	台湾	情報技術	0.76

■ 株式組入上位5カ国(%)

1	中国	29.32
2	台湾	15.63
3	インド	11.46
4	韓国	11.24
5	株式先物	6.38

■ 株式組入上位5業種(%)

1	情報技術	20.66
2	金融	19.66
3	一般消費財・サービス	11.68
4	コミュニケーション・サービス	9.60
5	素材	8.63

※「株式組入上位10銘柄」「株式組入上位5ヵ国」「株式組入上位5業種」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

世界債券プラス型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボンド・ファンド－３

アライアンス・バーンスタイン株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債（BBB格以上）を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

■ 純資産総額

85 億円

■ 設定日

2009年1月8日

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（円ベース）

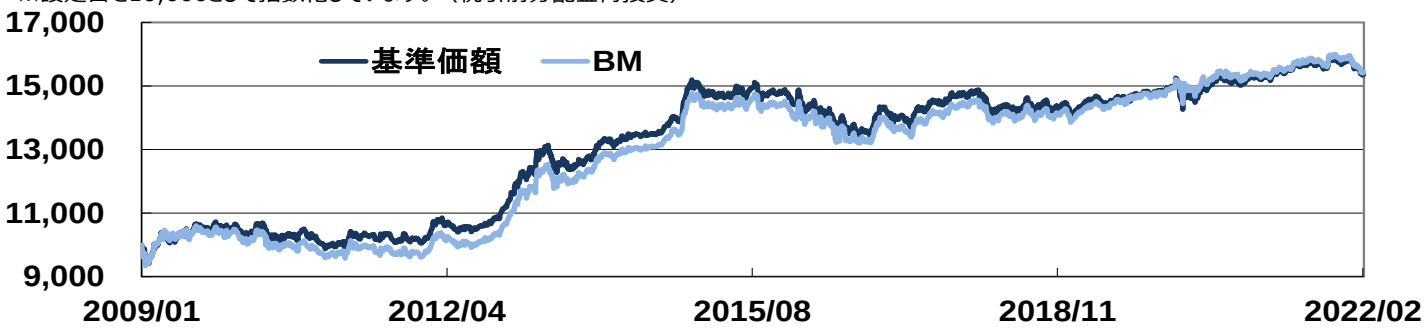
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 1.58	△ 2.25	△ 2.22	1.31	6.32	53.61
BM	△ 1.38	△ 2.37	△ 2.38	0.86	8.14	54.39
差異	△ 0.20	0.12	0.17	0.45	△ 1.82	△ 0.78

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	クーポン(%)	償還日	Moody's	S&P	%
1	日本国債	日本	0.000	2022/4/25	A1	A+	5.04
2	日本国債	日本	0.000	2022/4/18	A1	A+	4.26
3	イギリス国債	イギリス	0.125	2023/1/31	Aa3	AA	3.77
4	米国国債	アメリカ	0.125	2023/3/31	Aaa	AA+	3.32
5	米国国債	アメリカ	1.375	2031/11/15	Aaa	AA+	3.06
6	イタリア国債	イタリア	0.250	2028/3/15	Baa3	BBB	3.01

■ 格付別構成比率 (%)

AAA	39.93
AA	13.46
A	31.09
BBB	14.21
BB以下	0.00
現金等	1.32

■ ファンド情報

平均格付	AA-
平均クーポン(%)	0.89
平均利回り(%)	1.13

■ 債券組入上位5カ国／地域 (%)

1	アメリカ	26.65
2	日本	25.29
3	イタリア	11.41
4	イギリス	8.55
5	オーストラリア	6.44

■ 債券種別構成比率 (%)

国債・政府機関債等	86.00
社債	12.68
現金等	1.32

※格付は、ムーディーズ（Moody's）社またはスタンダード・アンド・プアーズ（S&P）社のうち、いずれか高いほうを採用しています。
※「債券組入上位銘柄」「債券組入上位5カ国/地域」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

オーストラリア債券型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用）

アライアンス・バーンスタイン株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリア・ドル建の国債、州政府債、国際機関債および事業債などの公社債に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■ 純資産総額

27 億円

■ 設定日

2015年4月10日

■ ベンチマーク

ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス（円換算）

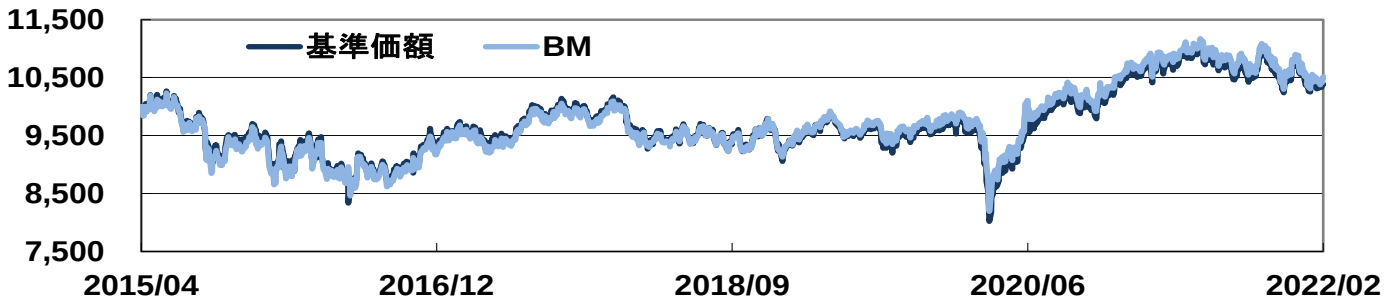
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	1.26	△ 0.46	△ 2.35	△ 2.28	7.79	3.81
BM	2.00	0.16	△ 2.22	△ 3.09	9.14	5.13
差異	△ 0.74	△ 0.62	△ 0.13	0.81	△ 1.35	△ 1.32

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	クーポン（%）	償還日	Moody's	S&P	%
1	オーストラリア国債	オーストラリア	0.500	2026/9/21	Aaa	AAA	13.93
2	オーストラリア国債	オーストラリア	3.250	2029/4/21	Aaa	AAA	11.17
3	オーストラリア国債	オーストラリア	3.750	2037/4/21	Aaa	AAA	10.82
4	オーストラリア国債	オーストラリア	2.500	2030/5/21	Aaa	AAA	10.66
5	オーストラリア国債	オーストラリア	4.500	2033/4/21	Aaa	AAA	6.81
6	オーストラリア国債	オーストラリア	2.750	2028/11/21	Aaa	AAA	5.79

■ 格付別構成比率（%）

AAA	80.98
AA	10.40
A	3.89
BBB	1.45
BB以下	0.00
債券先物	0.00
現金等	3.28

■ ファンド情報

平均格付	AA+
平均クーポン（%）	2.69
平均利回り（%）	1.97

■ 債券組入上位5カ国／地域（%）

1	オーストラリア	88.69
2	アメリカ	4.06
3	国際機関	1.82
4	ノルウェー	0.93
5	ドイツ	0.62

■ 債券種別構成比率（%）

国債・政府機関債等	80.52
社債等	16.20
債券先物	0.00
現金等	3.28

※格付は、ムーディーズ（Moody's）社またはスタンダード・アンド・プアーズ（S&P）社のうち、いずれか高いほうを採用しています。
※「債券組入上位銘柄」「債券組入上位5カ国/地域」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

金融市場型

［ご参考　主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

■ 純資産総額

14 億円

■ 設定日

2000年12月21日

■ ベンチマーク

日本円無担保コールオーバーナイト物レートにより日々運用したときに得られる投資収益を指数化したもの

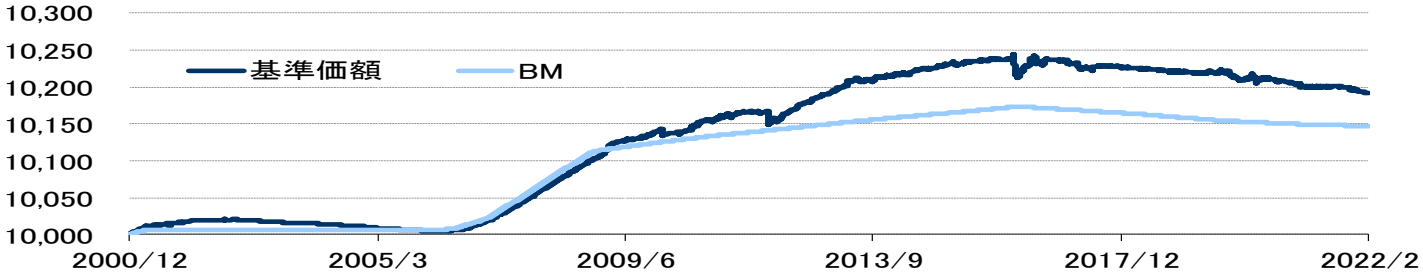
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△0.03	△0.06	△0.10	△0.09	△0.28	1.91
BM	△0.00	△0.01	△0.01	△0.02	△0.10	1.47
差異	△0.03	△0.05	△0.09	△0.06	△0.18	0.44

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



■ 資産構成

	修正デュレーション	%
公社債	0.79年	89.25
国債	1.22年	22.82
地方債	0.44年	5.40
特殊債・財投債	0.57年	19.07
金融債	0.00年	0.00
社債等	0.70年	41.96
その他	0.00年	0.00
短期資産等	0.33年	10.75
CD		0.00
CP		0.00
T-Bill		7.61
コールローン		3.04
その他		0.11
合計	0.74年	100.00

■ 格付別構成比率

公社債		短期資産等	
格付区分	%	格付区分	%
AAA	0.00	P-1	0.00
AA	0.00	P-2	0.00
A	100.00	P-3	0.00
BBB	0.00	無格付	0.00
BB以下(無格付含)	0.00		

※比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。
※「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

格付基準：※海外格付機関の格付を優先します。
※コールローンは格付別構成比率には含めていません。
（公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。）
※海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。
※T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。
※T-Billに分類された1年未満の国債については公社債の格付別構成比率に含めています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

日本債券インデックス・ファンドVA2＜適格機関投資家限定＞

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマークに連動した投資成果をめざします。

■ 純資産総額

230 億円

■ 設定日

2009年1月8日

■ ベンチマーク

NOMURA-BPI 総合指数

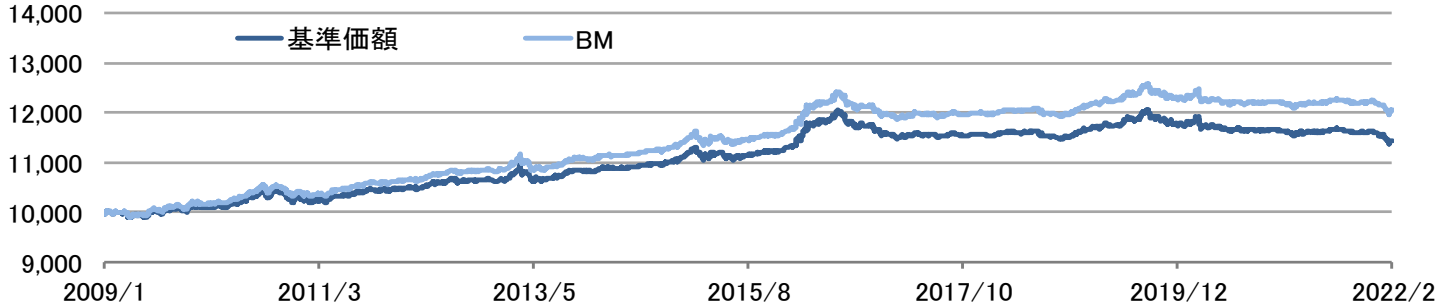
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△0.52	△1.50	△1.79	△0.60	△2.17	14.51
BM	△0.50	△1.43	△1.63	△0.24	△1.11	20.54
差異	△0.02	△0.07	△0.16	△0.36	△1.06	△6.03

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当投資信託の運用成果等に関し、一切責任はありません。

■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	クーポン(%)	償還日	%
1	第428回利付国債	0.005	2023/9/1	1.66
2	第149回利付国債	0.005	2026/9/20	1.44
3	第141回利付国債	0.100	2024/9/20	1.39
4	第146回利付国債	0.100	2025/12/20	1.31
5	第148回利付国債	0.005	2026/6/20	1.11
6	第144回利付国債	0.100	2025/6/20	1.06

■ 債券種別構成比率 (%)

国債	81.87
地方債	6.03
政府保証債	2.20
金融債	0.61
事業債	7.26
円建外債	0.39
MBS債	1.49
コール・その他	0.16

■ ファンド情報

平均格付	AA
平均クーポン(%)	0.78
平均利回り(%)	0.25

※「債券組入上位銘柄」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。
※資産担保証券（ABS）は事業債に含まれています。
※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

［ご参考　投資信託の運用実績・状況］　(2022年2月末現在)

アーキタス・ワールド・エックス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド

Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド　Architas Multi-Manager Europe Limited

■ 投資信託の特徴

元本およびインカム収入の両方を考慮したトータルリターン（報酬および費用控除前）を投資家に提供することを目指します。ベンチマークはFTSE 世界国債インデックス（除く日本）で、ベンチマークに連動した運用成果を目指します。純資産価額の100%を上限として、日本を除く世界各国が発行する国債（政府機関債・地方債含む）に投資します。
*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

■ 純資産総額

38,813 百万円

■ 設定日

2021年3月24日

■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

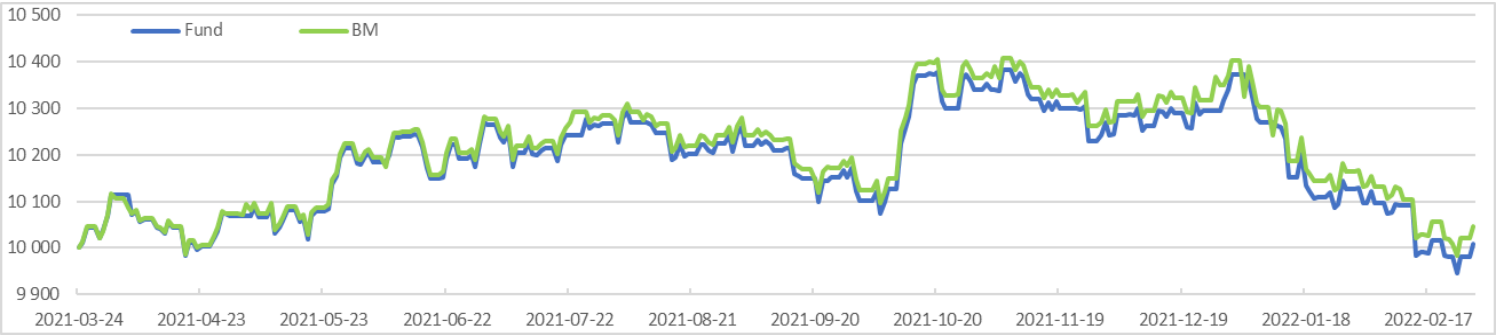
■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率　表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△1.19	△2.53	△1.94	-	-	0.09
BM	△1.17	△2.44	△1.76	-	-	0.47
差異	△0.02	△0.09	△0.18	-	-	△0.38

※基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。
※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。（税引前分配金再投資）



■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数:　541

	銘柄	国名	%
1	US TREASURY N/B 0.125%　31 Jan 2023	アメリカ	1.07
2	US TREASURY N/B 1.875%　31 Aug 2024	アメリカ	1.05
3	US TREASURY N/B 2.125%　31 Jul 2024	アメリカ	1.00
4	US TREASURY N/B 1.625%　15 Feb 2026	アメリカ	0.92
5	US TREASURY N/B 2%　30 Jun 2024	アメリカ	0.85
6	US TREASURY N/B 2.25%　30 Apr 2024	アメリカ	0.75

■ 債券組入上位5カ国（%）

1	アメリカ	48.05
2	フランス	9.77
3	イタリア	8.56
4	ドイツ	7.24
5	イギリス	5.68

■ 格付別構成比率（%）

AAA	56.29
AA	15.07
A	1.53
BBB	11.74
BB or Lower	0.00
Not Rated	15.19

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。
※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分（現金等）を加えて構成されています。
後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

当保険商品のリスク・諸費用①

投資リスクについて

●この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額保険です。
●特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあります。これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
●ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。（払いもどし金額および満期保険金額に最低保証はありません。）
●特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

諸費用について

下記の期間中は、保険関係費・運用関係費・解約控除・積立金移転費用をご負担いただきます。
ユニット・リンク保険(有期型)・ユニット・リンク保険(定期型)　：　特別勘定における資産運用期間中
ユニット・リンク介護保険(終身移行型)　：　第1保険期間中

＜保険料払込時および保険期間中にかかる費用＞

以下の各費用の合計額をご負担いただきます。

保険関係費

保険関係費とは、お払込みいただいた保険料もしくは積立金から控除される諸費用です。
保険関係費の細目は下表のとおりです。

<table>
<tr><th>保険関係費の細目</th><th colspan="2">取扱内容</th></tr>
<tr><td>(1)保険契約の締結・維持および保険料の収納に必要な費用</td><td colspan="2">特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。</td></tr>
<tr><td>(2)特別勘定の管理に必要な費用</td><td>*契約日が2017年4月1日以前のご契約者様

積立金額に対して年率0.50%(0.50%／365日)を乗じた金額を、毎日、積立金から控除します。</td><td>*契約日が2017年5月1日以降のご契約者様

積立金額に対して年率0.50%(0.50%／365日)を乗じた金額を、毎日、積立金から控除します。
また、積立金額に対して年率0.25%(0.25%／12ヵ月)を乗じた金額を、月単位の契約応当日始に積立金から控除します。</td></tr>
<tr><td>(3)基本保険金額保証に関する費用</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>(4)死亡保障などに必要な費用（危険保険料）</td><td colspan="2">月単位の契約応当日始に積立金から控除します。</td></tr>
<tr><td>(5)保険料払込免除に関する費用</td><td colspan="2">保険料に対して以下を乗じた金額を特別勘定への繰入れの際に保険料から控除します。
ユニット・リンク保険（有期型）・ユニットリンク介護保険(終身移行型)：保険料に対して0.1%～0.2%(保険料払込期間に応じます。)
ユニット・リンク保険（定期型）：保険料に対して0.3%</td></tr>
</table>

※ 保険関係費（上表(1)～(5)）の総額は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。
※ 契約日が2013年10月2日以降の年払保険料は分割し、月払保険料として毎月特別勘定に繰り入れます。
※ 契約条件に関する特約（08）を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます（特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。）。
特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は契約条件・特別条件承諾書でご確認ください。

当保険商品のリスク・諸費用②

運用関係費

項目	費用(投資信託の純資産に対して)		ご負担いただく時期
運用関係費	安定成長バランス型	年率０．49390%程度*1	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。
	積極運用バランス型	年率０．54480%程度*1	
	日本株式型	年率０．13200%程度	
	日本株式プラス型	年率０．82600%程度	
	外国株式プラス型	年率０．55000%程度	
	世界株式プラス型	年率０．77300%程度	
	新興国株式型	年率０．55000%程度	
	世界債券プラス型	年率０．57200%程度	
	オーストラリア債券型	年率０．34100%程度	
	金融市場型	年率０．03575%～０．50600%程度*2	

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等がかかる場合はそれらを含む総額の信託報酬率を記載しています。
信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。
また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。
したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

※ 運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

＊1「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

＊2「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

＜解約・減額時にかかる費用＞

解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日または減額日における保険料払込年月数*が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数*により計算した額	解約日または減額日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数*、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。
※ 保険料払込年月数*が10年未満の場合、基本保険金額の減額などにも解約控除がかかります。
※ 早期に解約された場合は解約控除額が大きくなり、払いもどし金がまったくない場合もあります。
＊ 契約日が2013年10月2日以降の年払の場合は、月払保険料として特別勘定に繰り入れた年月数

＜積立金の移転に関わる費用＞

項目	時期	費用	備考
積立金移転費用	積立金の移転時	【書面による移転申込みの場合】 月１回の移転は無料 2回目からは1回につき2，300円	1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。
		【インターネットによる移転申込みの場合】 月１回の移転は無料 2回目からは1回につき800円	

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

＜年金払特約（06）、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用＞

項目		費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して1．0%*	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

＊ 記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。